

①取組主体

名称 : 群馬県藤岡市立藤岡第二小学校
担当窓口 : 担当課(者) 6学年
住所 群馬県藤岡市藤岡991番地
電話 0274-22-0854 FAX0274-22-0763

団体の種類 : 学校
構成員数 : 737人(全校生徒数)
活動内容を紹介するHP、情報誌等の有無 : 無

②連携している団体等の有無 : 有

→(有の場合)連携している団体の属性(複数回答可、主な団体等のみ):
その他(市菊花協会)

③取組地域 群馬県藤岡市(藤岡第二小学校校区内)

④取組開始時期・経緯(動機含む)

平成16年の小林敏夫校長本校就任に伴い、6年生の総合的な学習の時間の「みんなでボランティア」の単元で、菊の栽培をして、地域の施設等へ贈呈する活動をするのを始めて、今年で3年目になる。

⑤目的(目標)

ボランティア活動(菊の栽培・贈呈活動)を通して、相手に感謝される喜びを知り、社会や地域の人のために温かい心で行動していこうとする態度を育てる。

⑥参加者数・属性推移

6年生 全員 (93人)(平成16年度)
(96人)(平成17年度)
(134人)(平成18年度)

⑦経費

平成18年度:

土・肥料・鉢・支柱等	合計	約99,000円
<支出内訳>	学校予算より	約25,000円
	PTA会費より	約70,000円
	児童会費より	約4,000円

⑧具体的な取組内容

概要（関係者の連携方法・地域との関わりを含む）

6年生の総合的な学習の時間の「みんなのボランティア」の単元として菊の栽培方法を市菊花協会から指導を受け、育てた菊を校舎内外に展示するとともに地域の「安心の家」や「病院」などの施設に贈呈している。

- ・ 菊の栽培。（5月～12月）
- ・ 育てた菊を校舎内外に展示。（10月～12月）
- ・ 育てた鉢植えの菊を地域の安心の家や病院などの施設に贈呈。（10月）
- ・ 学年主任が菊花協会長と連絡。栽培の仕方を指導に来てもらう。（随時）

⑨これまでの成果（参加者の反応を含む）

初めは菊作りに対してちゃんと育つだろうか等の不安を持っていたが、楽しんで取り組む児童が多く、育てていく中で菊に対する愛着が増し、校長や菊花協会の方の適切な指導があり、地域の安心の家や施設などに贈呈するという明確な目的を持った「菊作り」ということもあって、しっかり世話ができ、見事な花を咲かせることができた。

約7ヵ月にわたる世話は大変であり、「忍耐力がついた」という児童もいるが、贈呈したときの「ありがとう」等の感謝の言葉で苦勞が報われ、児童全員が充実感を味わっている。そして、取り組んできたことを振り返り、活動を通して学んだことなどを「菊作り感想文集」にまとめ、よい思い出として心に刻みつけることになった。

⑩今後の構想、課題

生徒のアイデアを生かした取組の実施、公共施設の設置した花への水やり、移動の際の安全の確保。

⑪その他

別添1：写真（取組の様子）

別添2：計画表

菊の世話をする6年生



育てた菊を校舎内外に飾る



ふれあいタイム 単元計画表 (6)年			
単元名 (領域)	みんなでボランティア (テーマ総合)	関連分野 関連教科	情報 環境 理科 地域文化 道徳 国際理解 社会
時期	5月 3週 ~ 11月 4週	時数	16 積算
ねらい	○ボランティア活動を通して、相手に感謝される喜びを知り、社会や人のために温かな心で行動していこうとする態度を育てる。		
評価	○ボランティア活動に関心を持ち、仲間と協力して進んで活動しようとする。 <div style="text-align: right;"><学習にかかわる興味・関心></div>		
価値	○もらった人が笑顔になるよう、菊を熱心に栽培する。 <div style="text-align: right;"><実践する力></div> ○安心の家に自分が育てた菊を届けることにより、感謝の気持ちを伝え、心の交流をはかる。 <div style="text-align: right;"><コミュニケーション能力></div>		
単元	○活動を通して感じたこと、考えたことなどを、まとめ、これからの生活に生かそうとする。 <div style="text-align: right;"><表現力></div>		
目標	学習活動	形態	支援及び留意点等
ふれる・つかむ	3 ①「みんなでボランティア」の意義を知り、学習意欲を持つ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自分たちで作った菊を、お世話になっている安心の家の方にプレゼントしよう。</div> ②菊の栽培のオリエンテーションを聞く。 ③菊の栽培をする。	全体 全体 学級 個人	○学校生活はたくさんの人の支えの上に成り立っていることを伝え、その人たちに喜んでもらうために菊を作ってプレゼントしようとする。 ○菊の水やりや草むしりなど、日頃の管理がしっかりと行えるよう、声かけをしていく。
追究する	3 ④自分の通学路や近所にある安心の家を調べる。 ⑤校区内の安心の家マップを作成する。 ⑥菊を持っていく家を決める。	個人 全体 全体	○安心の家を調べさせ、自分の通学路にはたくさんの安心の家があることを意識させる。 ○校区の地図に町内ごとに色を決めて、1件ずつ番号をふっていき、届ける家が重ならないように留意させる。
生かす・広げる	10 ⑦安心の家に手紙を書く。 ⑧安心の家に菊・手紙を持って行き、感謝の言葉を伝える。 ⑨本単元のまとめとして、感想文を書く。 ⑩菊作り感想文集を作る。	学級 個人 学級	○この6年間のことをふり返らせ、安心の家にお世話になったことや安心の家があるだけで安心して登下校できる感謝の気持ちを書かせる。 ○交通安全に気をつけたり、礼儀正しく振る舞い感謝の気持ちをしっかり伝えたりできるよう、働きかける。 ○本学習で学んだことや感謝の気持ちなどを日常生活や将来に生かせるように、道徳や学級活動などとの関連を図らせる。
備考	○菊の栽培方法については、校長先生が説明してくださいました。 ○夏休み中も学校に菊を置き、子どもたちが輪番制で管理する。 ○感想文を印刷して文集を作った。		